

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔 取組 1 〕 医師・歯科医師を対象とした事業
 (2) 特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成
 高難度手術領域

		整理番号	10
申請担当大学名 (連携大学名)	慶應義塾大学 (東京医科大学、岩手医科大学) 計 3 大学		
事業名	領域横断的内視鏡手術エキスパート育成事業		
事業責任者	慶應義塾大学医学部長 教授 末松 誠		
事業の概要			
<p>領域横断的な基礎知識と技能を身につけ、プランニングから一貫して安全・確実な手術が可能であり、かつ国際的に活躍できるグローバルな視野を持ったリーダーを育成する。そのため我々は二つのコースを設置し、段階的に高難度手術へ移行するプログラムを構成した。</p> <p>1) Basic トレーニングコースでは、総合大学の特長を生かし、理工学部との共同で内視鏡手術機器の特徴と問題点に対する理解を深めた上で、既に稼働している大動物・Cadaver トレーニングを用いた実践的教育プログラムを提供する。更に豊富な症例数を誇る関連施設での実地修練を組み合わせた。</p> <p>2) Advance トレーニングコースでは、豊富な経験と症例を持つ他大学（岩手医科大学）での修練や、世界的リーディング施設での研修（韓国・フランス）及び世界随一の教育プログラム（IRCAD-Taiwan）への参加を盛り込むことで、グローバル・スタンダードを学んだ上で高難度手術を安全かつ高いレベルで施行可能な人材を育成する。</p>			
推進委員会からの主なコメント		：優れた点等、 ：充実を要する点等	
<p>これまでの実績から考えても、申請プログラムの実現に必要な体制は整っており、海外研修での成果も期待される。</p> <p>患者にとっては極めて有用である内視鏡手術について、多臓器にわたって研修する取り組みは評価でき、成果も十分期待できる。</p> <p>内視鏡外科は低侵襲で患者の早期社会復帰が期待できる。また、国内の大学（慶應、東京医大、岩手医科大学）のみならずフランス、韓国等海外との連携が魅力的であり、関連施設も含めて技術の均てん化を目指す点は評価できる。</p> <p>横断的トレーニングは、すばらしい試みであるが、各臓器を周知した上での人材育成が必要であることから、安全が十分に配慮される研修が期待される。</p> <p>この成果を全国の多施設に普及させるための計画を具体的に検討いただきたい。</p> <p>海外連携機関との調整については着実に実行されるよう、連携大学とも十分協力しながら事業を展開していただきたい。</p>			